

【外国語学部】令和6年度 学部教学マネジメント報告書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制の変更点 ※計画書から変更があった場合

変更なし

2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの改善に向けた今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

① カリキュラムマップ

現在検討中の学部改組・教育改革の内容を踏まえ、新たなカリキュラム、それに基づく主要授業科目及びアセスメント科目の設定、また、カリキュラムマップの見直し作業を進める必要があることから、現在のカリキュラムマップの見直しは最小限の作業にとどめることとした。

② シラバス

主要授業科目・アセスメント科目の設定を踏まえ、カリキュラムマップで定めた各授業科目の「身につく資質・能力」とシラバスとの整合性について、シラバスチェック作業を通じて再確認した。

③ その他（カリキュラムツリー、ナンバリング等）

次年度新規開講科目をカリキュラムツリー及びナンバリングに反映させた。

課題

現在検討中の学部改組・教育改革の内容を踏まえた各ツールの見直し

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化の今年度の取り組みと取り組みを通して明らかになった課題

今年度の取り組み

学部内の各種会議体が、PDCA サイクルで担う役割において取り組むべき具体的な作業内容が、明確には定められていないことから、令和6年度は、特に「C」における点検・評価方法の検証に着手した。

課題

「C」における点検・評価の方法として、学修成果実感調査等、学修成果・教育成果を把握・可視化する各種調査結果の活用が不十分であり、これらの活用を検討していく必要がある。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況の評価と明らかになった課題

評価（授業科目の到達目標の達成状況 および 学生の資質・能力の修得状況）

- ・ 教学 IR データを分析したところ、学年末の通算 GPA の平均値、中央値がここ数年低下傾向にあることに加えて、GPA 標準偏差の数値が高くなる傾向にあることがわかった。
- ・ 学部改革を念頭に、入学した学生のニーズ、レディネス、及び外国語学部に求められる社会ニーズの把握を行いながら、カリキュラム、授業科目、授業内容、教育手法の見直し等の作業を進めた。

課題

GPA の低下傾向に加えて、GPA が分散傾向にあることに対応したカリキュラム、授業内容、授業手法等の検討

アセスメントプランの取り組み

①結果

学部改革を念頭に、社会ニーズに合わせた新たな手法を用いる授業科目の新設や既存科目の改善などを行った。

②課題

社会ニーズに合わせた新たな手法を用いる授業科目が一部にとどまっている。

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP への掲載を検討します。